

幸町ワーク・ライフ・バランス講座開催報告

「イクメンでいこう!育児・介護も仕事も充実させる生き方」

講師:渥美 由喜 氏

日時:平成24年9月26日(水)15:00~17:00 会場:研究交流棟5階

参加人数:合計50名(男性30名、女性20名) 内訳:学内教職員28名、学生11名、学外11名



9月26日15時より渥美由喜氏を招きワーク・ライフ・バランス講座「イクメンでいこう!」が開催されました。渥美氏は2児のパパで育児・介護・仕事に奮闘する、パワフルパパです。男性30名、女性20名の方が渥美氏のイクメン話に耳を傾けました。



石井副室長よりご挨拶



イクメンでイクメンの渥美さん



結婚後、どう愛情が変化するか

渥美氏曰く、仕事の効率化を図ることで、モチベーションを上げることができる。上がったモチベーションのベクトルを育児・介護につなげると、働くママの手助けになるのではないかな。

共働きの働くママは外で仕事、家でも家事・育児・介護が待っています。つらい部分をマイナスに考えるのではなく、「良かった探し」で楽しく乗り切る為に、働くパパが『イクメン』に変身する方法を考えてみませんか？



業務の効率化について具体的なアドバイスをいただきました



WLBはイキイキ社員を増やすこと



50名の方が聴講くださいました

【参加者の感想】

何のために効率化するのかをふまえ、今日も子どものおむつを替えたいと思う。 今日一日の幸せを積み重ねて行きたい。 時間の無駄を削除(削減)して本当にやりたいことに費やそうと思う。 職種上(特に、研究については)、効率化やタイムマネジメントにそぐわない点もあるが、教授会や各種委員会の効率的な運営については、改善の余地があると思う。 産・育休、介護休暇・休業やそれからのスムーズな復帰を果たせるよう、より柔軟な働き方について、検討いただければと思う。 いざ自分自身のこととなると難しいと思っていたが、具体的な時間割表の組み立て方などを見て参考にしたいと思う。



講演後はうどんを食べながら交流を深めました

ちなみに10月19日は10(トオサン)19(イクジ)の日。イクメンとは「子育てを楽しむだけでなく、ママを幸せにできちゃうパパのこと!」イクメンだけでなく、イクジもどんどん増えるといいですね。